



金属3D積層造形部材の内部欠陥評価

X線CTを用いて、非破壊で金属3D積層造形部材の内部欠陥を評価できます。

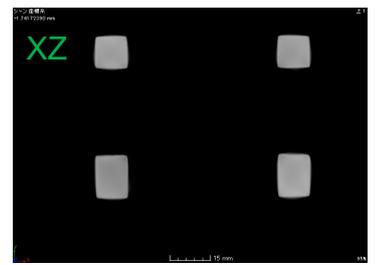
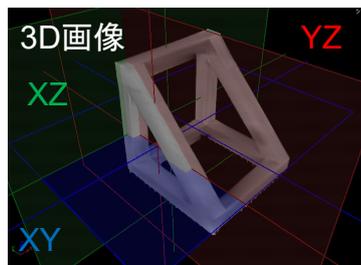
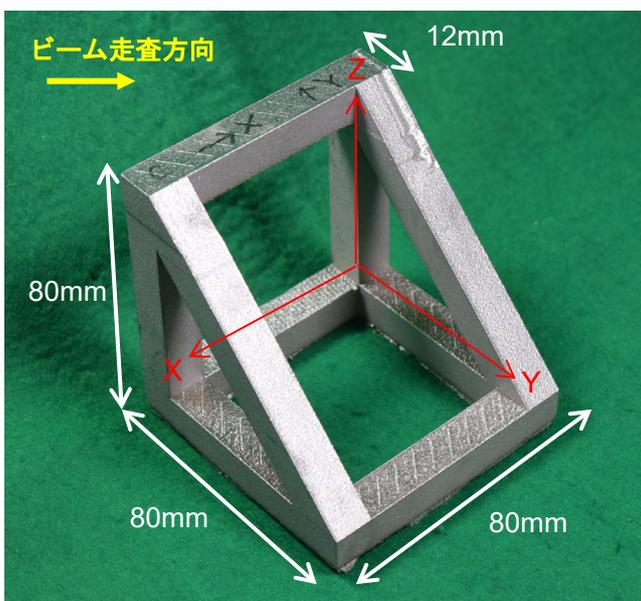
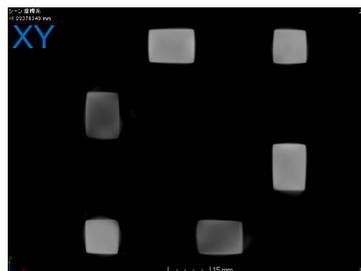
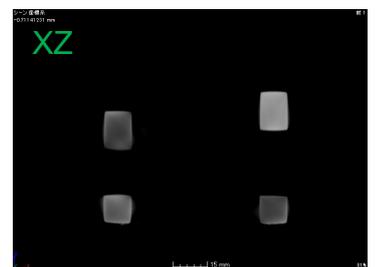
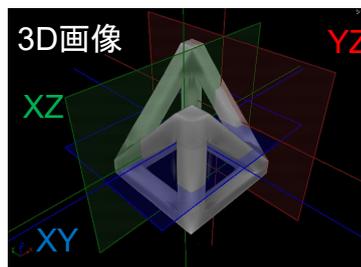
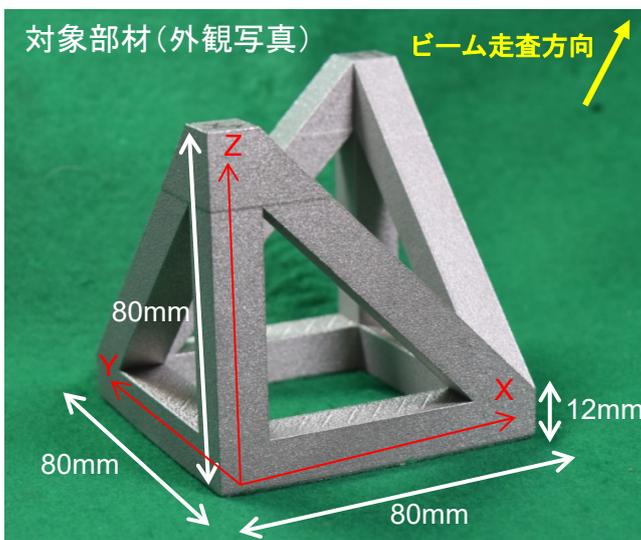
概要

- 3Dプリンター積層造形技術は“ものづくり”に革命を起こすと言われており、その進歩にはめざましいものがあります。既に、自動車・航空宇宙分野や医療分野などでは実用化事例も多く、今後、金属部材の成形加工技術として更なる拡大が期待されています。

金属3Dプリンター積層造形部材について、X線CTを用いて、非破壊で内部欠陥の評価を行います。

X線CTを用いた金属3D積層造形部材の評価例

- 測定ピッチ400 μ mによるX線CTを実施し、400 μ m以上の欠陥が無いことを確認した事例です。



測定ピッチ: 400 μ m

X線CTによる内部欠陥評価例 (材質:SUS316L)

※様々な形状に対応いたします。サンプル寸法と測定ピッチをご相談ください。



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2020 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。